

研究実施のお知らせ

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院では、文部科学省、厚生労働省および経済産業省が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、以下の研究を実施します。

■研究課題名

多剤耐性菌感染者の治療薬選択についての質問票調査

■研究の意義・目的・方法

抗菌薬の適正使用により薬剤耐性菌感染症の疾病負荷を軽減することは、今後の感染症診療において重要です。例えばカルバペネムという抗菌薬に耐性である菌による感染症は、治療できる抗菌薬の種類が極度に限られています。このような耐性菌感染症における治療薬の選択に関する国内の現状について調査をすることは、今後の抗菌薬適正使用を進めていく上で大きな意味があります。

本研究ではカルバペネム耐性菌のような、多剤耐性菌と呼ばれる細菌による感染症の治療経験がある施設に対して、使用する治療薬の選好を調査します。本研究はインターネットを通じたアンケート調査で実施されます。

■研究の期間

研究実施承認日から 2026年3月31日 まで

■研究の対象となる方

調査の前年にカルバペネム耐性菌感染者、多剤耐性緑膿菌感染者、多剤耐性アシネトバクター感染者、*Stenotrophomonas maltophilia*感染者のいずれかの診療経験がある医療機関に勤務する医師(担当医師もしくは感染症科、救急科、集中治療科、血液腫瘍内科の医師)で、調査への回答に同意された方

■ご協力いただく内容

該当する多剤耐性菌感染者を今後診察した際の治療薬選択状況を調査するために、感受性パターンが違う複数の患者シナリオを提示して、どの治療薬を選択するかを質問を行います。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくか、文書でお渡しすることができます。希望される方は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

■研究参加への同意と撤回について

調査開始前に Web 上の「回答に同意する」ボタンを選択していただくことで本研究計画に同意いただいたものとします。回答終了後の同意の撤回はできませんが、回答中は回答を中断することで同意の撤回が可能です。

■研究の資金源と利益相反について

本研究は令和 3 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)薬剤耐性(AMR)アクションプランの実行に関する研究(20HA2003:研究代表者 大曲貴夫)にて行います。

現時点で本研究における利益相反はなく、定期的に利益相反状況を NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理した上で研究を実施します。

■研究責任者:

(所属) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
国際感染症センター応用疫学研究室医長
(氏名) 都築 慎也

■問い合わせ先

機関名	国立国際医療研究センター病院
住所	東京都新宿区戸山1-21-1
電話	03-3202-7181(代表)
担当部署	国際感染症センター
担当者氏名	都築 慎也
メールアドレス	stsuzuki@hosp.ncgm.go.jp